

技術本部成果発表会 開催報告

技術本部の活動をご理解いただくことを目的に、各委員会・WGが2022年度に実施した 調査研究とその成果等を発表しました。

日 時 2023年6月9日(金) 12:55~17:10
会 場 HSB鐵砲洲 貸会議室(八丁堀)
開催形式 会場及びオンラインでのハイブリット開催

成果発表会の講演資料は、協会HP「公開資料」に掲載しています。 https://www.jasa.or.jp/archive/reports_technical/



審査総評

最優秀

ハードウェア委員会 RISC-V WG

6. 活用できるプラットフォームの開発②

Development of usable platform

《64ビット/LINUX版》

2020年度	2021年度	2022年度
・Rocket ChipのFPGAへの実装 ・ブートローダー開発 ・Arduino環境移植	・VSCデバッグ環境構築	・64ビット版RISC-VコアFPGA実装 ・LINUXカーネル移植 ・ブート環境



ARTY A7 100T

・市販FPGAボードにRISC-Vコア実装(64ビット版)
・LINUXが動作できる環境を構築
・手順をまとめたWebコンテンツを制作
今年度はJASA会員が成果物を手軽に活用できるよう、WGのページからリンクしたガイドを整備・発信していく



発表者:
WG主査
小檜山 智久

- ・着実に前進している感がある
- ・会員への展開をお願いします
- ・目的をはっきりとしていき、環境まで作って実用的に入門としてよい
- ・狙い明確で、計画性がある。実績も上がっている。活動の幅も広い
- ・発表内容が広さ、深さ、ともに申し分ない出来だった



優秀

IoT技術高度化委員会 スマートライフWG

想定ユースケース

アンガーマネジメントへの活用
怒りを鎮めるために、怒りを感じたら、笑顔を作る。(怒りは6秒間しか持続しない)



リモートワークへの活用
笑顔を作ってから、MTGへ参加。メンバーの心理的安全性が確保されMTGが活性化される。



毎朝の起床直後に笑顔の練習をする。
ゲームへの活用。
など、応用例はまだまだ!



発表者:
WG主査
國井 雄介

- ・前回は感情認識だったが今回は笑顔だけなので
スペック的にはダウンした感がある
- ・笑顔に着目したことが良い
- ・スマホに移植すればヒットしそう。心の病の治療に使える
- ・多様な広がりを感じさせる活動内容



優秀

プラットフォーム構築委員会 OpenEL活用WG

OSS-WG OSSハンズオン

テーマ: エッジデバイスプロトタイプで深めるOSS活用WG

概要: 従来の形のみで完結する勉強会ではなく、エッジデバイスを用いたハンズオンを中心としたチーム単位でのプロトタイプを通じてOSS活用技術の向上を目指す

実施方式: 各目的のやってみようコソを共通利用に企業の特長を反映したチームを編成し、エッジデバイスを利用しながらチームで定めたテーマに基づきワークショップ形式(全5回制)で実施

- 実績:
- ・2021年度 全4回開催+報告会実施。参加者9名、3チーム編成
 - ・2020年度 全4回開催+報告会実施。参加者14名(内7社、男性:13名、女性:1名)、4チーム編成
 - ・2019年度 全4回開催+報告会実施。参加者8名(内4社、男性:6名、女性:2名)、3チーム編成



チームワークの促進。企業単位でチームを編成し、ハンズオンで実践する。



2021年度は各社100円/マイコンのRISC-Vボードを活用し、RISC-Vの活用を促進した。



各社100円/マイコンのRISC-Vボードを活用し、RISC-Vの活用を促進した。



2021年度は各社100円/マイコンのRISC-Vボードを活用し、RISC-Vの活用を促進した。



発表者:
WG主査
中村 憲一

- ・これまでの活動成果が分かり易くまとめられていた。
普及の向けての課題にも触れて欲しかった
- ・良いものを作っているが国際標準化をもっとすすめればよいのではないか
- ・成果が見えるようにして欲しい、数字で表示できないか、標準化について示して欲しい



特別賞

IoT技術高度化委員会

IOT技術高度化委員会は、
オープンイノベーションで事業化に向けた
共創を！ をテーマに

①「白熱教室」で、
社会問題の解決に向けた大喜利の実施。

②テーマを絞り、実現に向けたアイデア、
ビジネスプラン、実現性を議論。

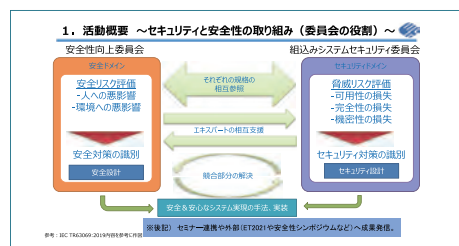


発表者:
委員会委員長
竹田 彰彦

- ・コモングラウンドはリアルタイム性がキモだと思います
- ・3つのWGで取り組みがどう役立つのかがわからなかった
- ・IoT研究の7年間を振り返って頂いた
- ・コモングラウンドのテーマがバクゼンとしないようにお願いしたい
- ・間口を広く取り議論した点は評価できる。その分だけフォーカスが絞れていない面も



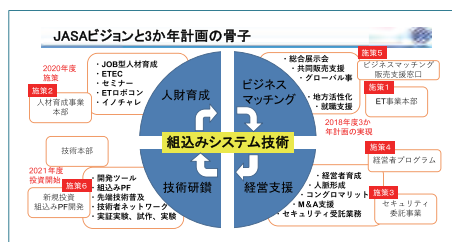
安全性向上委員会



発表者：
委員会委員
小水 元

- ・セミナーが企業のトライアルに繋がったのが良かった
- ・教材開発とその活用を中心に継続的な活動がなされている点を評価
- ・もう少し高い目標設定が望まれる。AIについての講座を望みたい

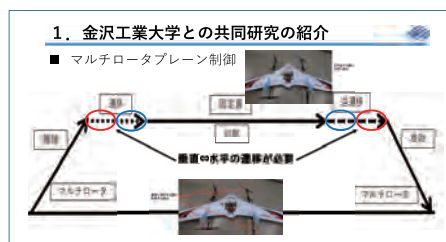
組込みシステムセキュリティ委員会



発表者：
委員会 副委員長
牧野 進二

- ・認証と比較して、ラベリングに注力して推進との事
- ・多岐にわたる項目で着実に成果をあげている。
- ・可能なスピードをさらにアップを

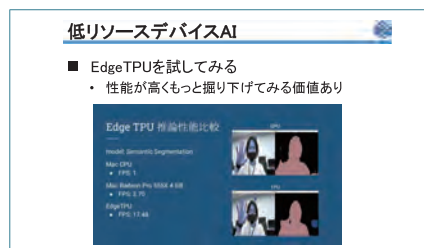
IoT技術高度化委員会 ドローンWG



発表者:
WG主査
牧野 進二

- ・V-TOL期待で飛行させる点、ゴールをどこに置くか？
- ・ソフト面、ハード面を意識した活動が必要ではないか。
- ・JASAのWGとして特色を出してほしい。取組は面白いので後々はスピード感を

応用技術調査委員会 AI研究WG



発表者:
WG主査
中村 仁昭

- ・組みみとAIを組み合わせるのはよいが、勉強会・コンペにとどまる。
- ・注目が集まるテーマだけにもう少し、弾けてほしかった。
- ・テーマ選択が面白い。引き続き活動を

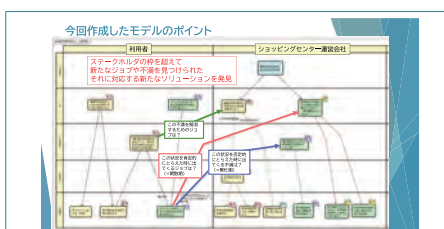
応用技術調査委員会 OSS活用WG



発表者:
WG主査
竹岡 尚三

- ・目的が明確で情報がよく整理されている。OSSハンズオンとかGOOD
- ・JASA技術本部の情報ソースとして貴重
- ・幅広い情報収集を共有頂きました。

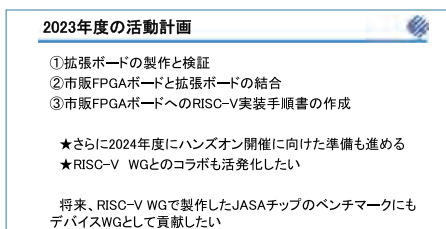
プラットフォーム構築委員会 組込みIoTモデリングWG



発表者:
WG委員
芳村 美紀

- ・知見を実践につなげて欲しい
- ・ゴールを明確化して推進している。良い意味でJASArしくない
- ・JOB理論モデルの拡張というテーマ設定から有益な成果が生み出された点を評価

ハードウェア委員会 デバイスWG



発表者：
WG主査
吉田 耕司

- ・IoT技術高度化委員会のように新しい分野に挑戦してはどうか
- ・2024年度ハンズオン開催を目指すとのこと